事務事業評価シート

1　基本情報

事業番号	020101020100	事業の類型	1

年度	2	事務事業名	献血推進事業	予算事業名	
優先度	3				
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課
施策名(中)		地域医療の充実を図る		担当課長	三浦　貴史
担当者名	中山　基恵				
取組み事項		地域医療体制を充実する		実施計画への記載	無
主要事業の指定	無				
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		安全な血液製剤の安全供給の確保に関する法律			

事業の目的		
	誰のために(具体的に)	病気や怪我の患者の治療のための血液を必要とする市民
	誰(何)を対象として	健康な16歳から69歳までの市民
	意図(どのような状態にしたいのか)	兵庫県の計画献血による献血の推進

2　事業の概要　　Do

実施の概要	年3回、姫路血液センターの献血車により、市役所前において、献血を実施。

活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	献血量	ml	62600	69800	78400	

3　投入資源

会計区分　　　　事業費単位:円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.044	0.076	173	0.076	100			
	臨時職員	0.040	0.020	50	0.004	20			
支出内訳	人件費	807,596	987,349	122	896,451	91			
	事業費			−		−			
	合計	807,596	987,349	122	896,451	91			
財源内訳	国庫支出金			−		−			
	県支出金			−		−			
	市債			−		−			
	その他			−		−			
	一般財源	807,596	987,349	122	896,451	91			
	合計	807,596	987,349	122	896,451	91			

※　事業の進捗状況

事業費単位:円

4　評価指標

【有効性】

指標名1		献血者数							
指標説明(式)		200ml・400ml献血者の計							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	150	150	100.0	150	100.0		106.7	
	実績	163	173	106.1	205	118.5			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

【効率性】

指標名1		目標献血量							
指標説明（式）		1回あたり献血量目標単位＝95単位（1単位＝200ml）							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
単位	目標	90	90	100.0	90	100.0			
	実績	104	116	111.5	130	112.1			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

5　事業の評価(2年度実績)　Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標（改善）達成度	献血者の増加	5
効率性	手段の最適性	献血車1台あたりの献血量の確保	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	献血者数、献血量は、計画数以上に確保できた。	5

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	安定的な献血者の確保と新規献血者の獲得

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	広報など啓発機会を設ける

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1　基本情報

			事業番号	020101020200		事業の類型	2
年度	2	事務事業名	救急医療施設運営事業	予算事業名	救急医療施設運営事業	優先度	3
まちづくり目標			みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名（中）			地域医療の充実を図る	担当課長	三浦　貴史	担当者名	中山　基恵
取組み事項			地域医療体制を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規			救急医療対策事業実施要綱				
事業の目的	誰のために（具体的に）		市民				
	誰（何）を対象として		夜間及び診療時間外での急病者等				
	意図（どのような状態にしたいのか）		救急医療施設運営により、緊急時の診療体制の確保。				

2　事業の概要　　Do

実施の概要		夜間及び休日の緊急時の診療体制を確保するため、在宅当番医制（一次）・病院群輪番制（二次）により運営。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	休日急患診療受診者	人	784	746	365	
	病院群輪番制受診者	人	393	398	356	
	小児科救急医療受診者	人	475	480	108	

3　投入資源

会計区分　一般会計　　　　事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.028	0.080	286	0.080	100			
	臨時職員	0.040	0.020	50	0.012	60			
支出内訳	人件費	688,652	1,016,909	148	945,553	93			
	事業費	19,102,440	19,459,410	102	18,895,470	97			
	合計	19,791,092	20,476,319	103	19,841,023	97			
財源内訳	国庫支出金			－		－			
	県支出金	934,000	952,000	102	916,000	96			
	市債			－		－			
	その他			－		－			
	一般財源	18,857,092	19,524,319	104	18,925,023	97			
	合計	19,791,092	20,476,319	103	19,841,023	97			

※　事業の進捗状況

事業費単位：円

4　評価指標

【有効性】

指標名1		延べ受診者数（人）							
指標説明（式）		夜間及び診療時間外時の急病等による受診者の増減							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	1,900	1,800	94.7	1,700	94.4		82.4	
	実績	1,652	1,624	98.3	829	51.0			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

【効率性】

指標名1									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

5　事業の評価(2年度実績）Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標（改善）達成度	夜間及び休日における診療体制の確保により市民が安心して暮らせる。	5
	市民サービス	夜間及び休日における診療体制の確保により救急医療が受けられ、大事に至らず安心感が得られる。	
効率性	負担割合の適正化	相生市・赤穂市・上郡町の2市1町の人口に対する負担割合である。	5
	手段の最適性	医師会に運営委託。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	当番回数等は前年度と同じであるが、コロナの発生により、受診控えによる受診者数が激減した。	2

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	小児救急において、夜間及び休日の受け入れに空白日がある。

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	小児救急受け入れ空白日解消のため、中播磨圏域との連携を強化する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020101020300		事業の類型	1
年度	2	事務事業名	若年者の在宅ターミナルケア支援事業	予算事業名	若年者の在宅ターミナルケア支援事業	優先度	3
まちづくり目標			みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名（中）			地域医療の充実を図る	担当課長	三浦　貴史	担当者名	中山　基恵
取組み事項			地域医療体制を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために（具体的に）		20代、30代の若年の末期がん患者				
	誰（何）を対象として		治癒を目的とした治療を行わない20代、30代の若年の末期がん患者				
	意図（どのような状態にしたいのか）		日常生活を送れるよう、在宅における生活を支援する				

2 事業の概要 Do

実施の概要		治癒を目的とした治療を行わない20代、30代の若年の末期がん患者の訪問介護及び福祉用具の貸与にかかる利用料の一部を助成				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	助成件数	人	1	0	0	

3 投入資源

会計区分　一般会計

事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.012	0.056	467	0.048	86			
	臨時職員	0.020	0.008	40	0.008	100			
支出内訳	人件費	514,328	808,949	157	717,902	89			
	事業費	108,990	0	0	0	－			
	合計	623,318	808,949	130	717,902	89			
財源内訳	国庫支出金			－		－			
	県支出金			－		－			
	市債			－		－			
	その他			－		－			
	一般財源	623,318	808,949	130	717,902	89			
	合計	623,318	808,949	130	717,902	89			

※ 事業の進捗状況

事業費単位：円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明（式）		助成利用実人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	1	50.0		100.0	
	実績	1	0	0.0	0	－			

指標名2								
指標説明（式）								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			－		－		
	実績			－		－		

【効率性】

指標名１									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

指標名２									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

5　事業の評価(2年度実績）Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	サービスに係る費用が高額であるため、利用者の自己負担に併せて、市が利用料の１割相当額を月６万円を限度として助成することで、費用負担の軽減が図れる。	3
効率性	手段の最適性	利用者は、サービスの利用が終われば、自己負担を除いた利用料を助成するが、利用期間中は月単位でも助成が可能である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者はなかったが、サービス提供準備は計画とおり進捗している。	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	利用実績無し

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	助成事業の周知

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020101030100	事業の類型	3

年度	2	事務事業名	病院管理事務事業	予算事業名	
優先度	3				
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	市民病院市民病院		
施策名(中)	地域医療の充実を図る	担当課長	後藤卓	担当者名	後藤卓
取組み事項	安定した市民病院の運営を行う	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	公営企業法、医療法				

事業の目的		
	誰のために(具体的に)	病院管理等を行うすべての関係職員
	誰(何)を対象として	病院管理等を行うすべての関係職員
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民病院として健全経営を目指し、職員の定員管理をはじめ、医事管理業務並びに施設管理を適正かつ効率的・効果的に行い経営の透明性を図る。

2 事業の概要 Do

実施の概要	適正な職員定数・医事管理を行い、事務処理等の透明性を確保する。また、施設管理等の諸経費の節減や見直しを図り、持続可能な維持管理に努める。(金額は税込)

活動実績 項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
職員の適正配置	人	37	46	48	
保守委託の精査	千円	62313	70663	75353	
時間外勤務手当削減	千円	5736	4065	4704	

3 投入資源

会計区分

事業費単位:円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.500	0.500	100	1.000	200			
	臨時職員	0.500	0.500	100	0.420	84			
支出内訳	人件費	5,471,240	5,344,709	98	8,297,066	155			
	事業費			-		-			
	合計	5,471,240	5,344,709	98	8,297,066	155			
財源内訳	国庫支出金			-	0	-			
	県支出金			-	0	-			
	市債			-	0	-			
	その他			-	0	-			
	一般財源	5,471,240	5,344,709	98	8,297,066	155			
	合計	5,471,240	5,344,709	98	8,297,066	155			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		病院事業費用経費							
指標説明(式)		医業費用のうち経費部分の経費(税込)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
千円	目標	166951	162554	97.4	175174	107.8		91.3	
	実績	153644	157376	102.4	155984	99.1			

指標名2		職員数の適正化							
指標説明(式)		看護師の配置は、10:1及び13:1体制で35床を届出基準としている。							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	40	45	112.5	48	106.7			
	実績	37	46	124.3	48	104.3			

【効率性】

指標名1		職員給与費比率							
指標説明(式)		職員給与費÷医業収益×100(職員数等の適否を示す。)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	45.4	45.4	100.0	44.3	97.6			
	実績	51.3	46.2	90.1	48.7	105.4			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	職員のコスト意識を喚起するため、院内運営員会において経営状況を共有するとともに、各科での課題を院内で議論し、経営改善に努めた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正な医事管理業務を行った。また、医療法等の関係法令を順守し、適切な諸手続きを行った。	
効率性	執行体制の効率性	臨時職員・パート職員の活用を図るとともに、院内の業務分担を見直し、看護師の業務負担軽減を図った。	4
	コストの節減	診療材料や委託業務等について、見積もり合わせによるコスト削減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域包括ケア病床の導入により理学療法士の採用、看護職員の増加となったが、医業収益も増加している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	空調設備の改修等、施設老朽化対策。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	空調改修の計画。令和4年度改修予定。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1　基本情報

		事業番号	020101030200		事業の類型	4	
年度	2	事務事業名	病院運営事務事業	予算事業名		優先度	5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民病院市民病院		
施策名（中）		地域医療の充実を図る		担当課長	後藤卓	担当者名	後藤卓
取組み事項		安定した市民病院の運営を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		公営企業法、医療法					
事業の目的	誰のために（具体的に）	周辺地域住民を含めたすべての市民					
	誰（何）を対象として	周辺地域住民を含めたすべての市民					
	意図（どのような状態にしたいのか）	市民病院としての健全経営を確保し、効率・継続的な病院運営により、地域住民に信頼される安全・安心で質の高い医療提供を行う。					

2　事業の概要　Do

実施の概要		安全・安心で良質な医療を提供するために、病院機能の充実強化、常勤医師の確保等医療提供体制の整備をはじめ、サービスアップの推進など積極的な改革を行い経営の健全化、安定した経営基盤の確立を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	経常収支比率	%	95.3	98.3	103.6	
	医業収支比率	%	83.7	89.9	94.9	
	病床の有効活用	%	72.1	73.3	77.9	
	一般会計繰入金	千円	80173	64455	78659	

3　投入資源

会計区分

事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.500	0.500	100	1.000	200			
	臨時職員	1.500	1.500	100	1.420	95			
支出内訳	人件費	8,240,240	7,894,709	96	11,049,795	140			
	事業費			－		－			
	合計	8,240,240	7,894,709	96	11,049,795	140			
財源内訳	国庫支出金			－	0	－			
	県支出金			－	0	－			
	市債			－	0	－			
	その他			－	0	－			
	一般財源	8,240,240	7,894,709	96	11,049,795	140			
	合計	8,240,240	7,894,709	96	11,049,795	140			

※　事業の進捗状況

事業費単位：円

4　評価指標

【有効性】

指標名1		経常収支比率							
指標説明（式）		経常収益÷経常費用×100（税抜き）							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
%	目標	97.6	97.8	100.2	100	102.2		105.0	
	実績	95.3	98.3	103.1	103.6	105.4			

指標名2		医業収支比率							
指標説明（式）		医業収益÷医業費用×100（税抜き）							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	87.8	88.0	100.2	91.1	103.5			
	実績	83.7	89.9	107.4	94.9	105.6			

【効率性】

指標名1		稼働病床利用率							
指標説明（式）		入院患者数÷（35床×365日）×100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	80.0	80.9	101.1	88.0	108.8			
	実績	72.1	73.3	101.7	77.9	106.3			

指標名2		1日平均外来患者数							
指標説明（式）		外来患者延数÷外来診療日数　※平成28年度は293日／年							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	50	50	100.0	50	100.0			
	実績	49.5	50.7	102.4	49.7	98.0			

5　事業の評価(2年度実績)　Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標（改善）達成度	各評価指標について、目標値に近づいた。	4
	市民サービス	自治体病院は、安全･安心な医療提供を一層求められる。ヒヤリハット等の検証･防止を確実に行い、医療の安全確保に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	看護配置を適正に行い、他科との業務分担についても常に改善した。	4
	手段の最適性	病床転換により診療点数の増加を図り、経営改善に繋げた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	病床稼働率が上昇した。 病床転換により経営改善を図った。	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	常勤医師2名が外科医でり、幅広い医療サービスを提供するために内科医師の確保が課題である。

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	大学、紹介会社を通じて内科医師の確保を重点課題として取り組む。

配点	32.5
総合評価	28

事務事業評価シート

1　基本情報

事業番号	020102010100	事業の類型	1

年度	2	事務事業名	保健対策推進事業	予算事業名	保健対策推進事業	優先度	3
まちづくり目標			みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名（中）			健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	三浦　貴史	担当者名	三木　由紀
取組み事項			健康づくり意識を醸成する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規			地域保健法				
事業の目的	誰のために（具体的に）		市民				
	誰（何）を対象として		市民の健康づくり及び歯科保健の推進				
	意図（どのような状態にしたいのか）		市民の健康づくりや歯科保健に対する総合的な把握と基本的な施策を協議し、健康づくり事業の調整及び推進方策等を決定する。				

2　事業の概要　　Do

実施の概要	あいのまち あいおい 健康プラン21（第3次相生市健康増進計画・第3次相生市食育推進計画・いのち支える相生市自殺対策計画）を策定し、それにそって、地域、関係団体、行政等が連携をして、健康づくり事業を総合的かつ計画的に行う。				
活動実績 項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
健康づくり推進協議会	開催回数	1	1	1	
歯科保健推進協議会	開催回数	1	1	1	

3　投入資源

会計区分　一般会計　　　　事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	－	0.030	－			
	参事以下職員	0.220	0.340	－	0.408	－			
	臨時職員		0.020	－	0.012	－			
支出内訳	人件費	2,005,220	2,938,309	－	0	－			
	事業費	380,000	350,000	－	120,000	－			
	合計	2,385,220	3,288,309	－	0	－			
財源内訳	国庫支出金			－		－			
	県支出金			－		－			
	市債			－		－			
	その他			－		－			
	一般財源	2,385,220	3,288,309	－	0	－			
	合計	2,385,220	3,288,309	－	0	－			

※　事業の進捗状況

事業費単位：円

4　評価指標

【有効性】

指標名1		推進協議会協議会開催回数							
指標説明（式）		市民の健康に関する有識者、関係団体から選出された委員が協議するための開催回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
回	目標	2	2	－	1	－		－	
	実績	2	1	－	1	100.0			

指標名2								
指標説明（式）								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			－		－		
	実績			－		－		

【効率性】

指標名１									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
回	目標			－		－			
	実績			－		－			

指標名２									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

5　事業の評価(2年度実績)　Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係（根拠）法令から見た効果	市民の健康づくりについて協議し、健康づくり事業の調整及び推進方策等を決定している。	3
	成果目標（改善）達成度	あいのまち　あいおい 健康プラン21の3つの計画の整合性を図りつつ、健康づくりを総合的に推進している。	
効率性	執行体制の効率性	相生市の健康づくりを総合的に推進するため、あいのまち あいおい 健康プラン21（相生市健康増進計画、相生市食育推進計画、いのち支える相生市自殺対策計画）を作成し、各協議会を合同で開催。	4
	コストの節減	各協議会を合同で実施することで、委員の報償費を削減	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進めている。	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標（改善）達成度	新型コロナウイルス感染症の影響で、協議会が書面表決となり、委員からの意見がなかった。

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標（改善）達成度	新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、協議会を開催するなど、委員からの意見がきける機会を設けるようにしたい。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020102010300	事業の類型	

年度	2	事務事業名	健康づくり推進事業	予算事業名	健康づくり推進事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名（中）		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	三浦　貴史	担当者名	石原　由佳
取組み事項		健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地域保健法、健康増進法					
事業の目的	誰のために（具体的に）	市内に居住する主に39歳以下の市民					
	誰（何）を対象として	市内に居住する主に39歳以下の市民					
	意図（どのような状態にしたいのか）	若年期からの生活習慣病予防の意識向上と生活習慣病予防を図る。					

2 事業の概要　Do

実施の概要	39歳以下の健康診査（基本健康診査、がん検診）胃がんリスク節目検診（30歳）				

活動実績 項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
基本健康診査	人	72	63	56	
がん検診	人	106	83	77	
胃がんリスク検診	人	34	2	2	

3 投入資源

会計区分　一般会計　　事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.366	0.356	97	0.344	97			
	臨時職員		0.024	－	0.032	133			
支出内訳	人件費	3,090,584	3,066,749	99	2,787,887	91			
	事業費	2,341,842	2,016,490	86	1,936,408	96			
	合計	5,432,426	5,083,239	94	4,724,295	93			
財源内訳	国庫支出金			－		－			
	県支出金			－		－			
	市債			－		－			
	その他			－		－			
	一般財源	5,432,426	5,083,239	94	4,724,295	93			
	合計	5,432,426	5,083,239	94	4,724,295	93			

※ 事業の進捗状況

事業費単位：円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		がん検診受診者数							
指標説明（式）		39歳以下の胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	170	120	70.6	100	83.3		100.0	
	実績	106	83	78.3	77	92.8			

指標名2		胃がんリスク検診（ABC）節目受診者数							
指標説明（式）		受診者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	50	50	100.0	20	40.0			
	実績	34	2	5.9	2	100.0			

【効率性】

指標名1	健診回数								
指標説明（式）	集団健診の延べ回数								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
回	目標	13	13	100.0	13	100.0			
	実績	13	13	100.0	13	100.0			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

5　事業の評価(2年度実績)　Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標（改善）達成度	受診人数がやや減少しているが、勤務先等で受診機会のない若年者の健康診査の機会となっている。	3
	市民サービス	若年者の健康診査受診の機会が得られ、健康づくりに活かすことができている。	
効率性	執行体制の効率性	若年者が受診しやすい環境づくりとして、受診場所の拡大が検討されるが、健診機関、医師会等との調整が必要である。	3
	執行体制の効率性	胃がんリスク検診（ABC）の個別検診が廃止されたことで受診者が伸び悩んでいる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市単の健康診査として、低料金で若年者に健診の機会を設けることができている。	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	胃がんリスク検診についての認知度が低い

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	継続して、普及啓発に取り組む。

配点	32.5
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010400		事業の類型	1
年度	2	事務事業名	後期高齢者健康増進事業	予算事業名	後期高齢者健康増進事業	優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	三浦　貴史	担当者名 石原　由佳
取組み事項		健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査に準拠した基本健康診査				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する75歳以上の市民				
	誰(何)を対象として	市内に居住する75歳以上の市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣病の予防を図る。				

2 事業の概要　Do

実施の概要	基本健康診査受診者数					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	基本健康診査	人	940	973	932	

3 投入資源

会計区分　一般会計

事業費単位:円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	-	0.030	-			
	参事以下職員	0.132	0.148	-	0.320	-			
	臨時職員		0.012	-	0.012	-			
支出内訳	人件費	1,351,028	1,499,029	-	0	-			
	事業費	4,967,760	5,288,680	-	5,177,784	-			
	合計	6,318,788	6,787,709	-	0	-			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	6,318,788	6,787,709	-	0	-			
	合計	6,318,788	6,787,709	-	0	-			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基本健診受診者数							
指標説明(式)		基本健康診査受診者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	1000	1000	-	1000	-		100.0	
	実績	940	973	-	932	95.8			

指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

5　事業の評価(2年度実績)　Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	集団健診は、基本健康診査と併せてがん検診等も同時受診ができる。	4
	関係（根拠）法令から見た効果	生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	一部、地域の会場で実施したが、自治会から見守り隊がでるなど安全かつ快適に実施することができた。遠方の地区には送迎バスを運行し、受診ができるよう努めるることができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により受診者がやや減少したが、委託先と連携をとり、安全に実施できている。	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	外部会場は階段の勾配が強いため、高齢者にとって負担がかかる。

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	引き続き外部会場では、自治会と調整し会場設定を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010600	事業の類型	4	
年度 2 事務事業名	健康ポイント制度事業	予算事業名	健康ポイント制度事業	優先度	3	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	三浦 貴史	担当者名	藤本 理恵	
取組み事項	健康づくり意識を醸成する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的 誰のために(具体的に)	20歳以上の市民					
誰(何)を対象として	20歳以上の市民					
意図(どのような状態にしたいのか)	健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の定着を促す。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	ポイントカードを配布し、健診受診や日々の運動等を実践したポイント達成者に記念品を贈呈する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	ポイント達成者数	人	169	270	226	

3 投入資源

会計区分 一般会計 事業費単位:円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.274	0.140	51	0.204	146			
	臨時職員	0.080	0.188	235	0.040	21			
支出内訳	人件費	2,628,176	1,888,709	72	1,862,109	99			
	事業費	349,250	305,930	88	341,558	112			
	合計	2,977,426	2,194,639	74	2,203,667	100			
財源内訳	国庫支出金			−		−			
	県支出金			−		−			
	市債			−		−			
	その他			−		−			
	一般財源	2,977,426	2,194,639	74	2,203,667	100			
	合計	2,977,426	2,194,639	74	2,203,667	100			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポイント達成者数							
指標説明(式)		ポイント達成者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	200	200	100.0	300	150.0		90.0	
	実績	169	270	159.8	226	83.7			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

【効率性】

指標名1		1人当たりの事業費							
指標説明（式）		（人件費＋事業費）／達成者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	12,939	14,887	115.1	7,703	51.7			
	実績	17618	8,129	46.1	9,751	120.0			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

5　事業の評価(2年度実績)　Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ポイント達成者に記念品を贈呈することにより、さらなる意欲の向上を図った。	3
効率性	コストの節減	新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、取組み人員が減少したことにより1人当たりの事業費コストが前年度より増加してしまった。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値に及ばなかった。	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	コロナ禍でも自宅で取り組めるような健康づくりに関する情報等を発信していく必要がある。

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	達成者が増加するよう、継続して普及啓発を行っていく。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1　基本情報

		事業番号	020102020100	事業の類型	1
年度	2	事務事業名	健康増進事業	予算事業名	健康増進事業
優先度	3				
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名（中）	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	三浦　貴史	担当者名	石原　由佳
取組み事項	病気などの早期発見と早期治療を推進する	実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	健康増進法				
事業の目的：誰のために（具体的に）	40歳以上の市民（子宮がん検診は20歳以上）				
事業の目的：誰（何）を対象として	40歳以上の市民（子宮がん検診は20歳以上）				
事業の目的：意図（どのような状態にしたいのか）	健康意識の向上、健康寿命の延伸及び介護予防				

2　事業の概要　　Do

実施の概要	健康診査（がん検診、歯周疾患健診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診）、健康教育（集団健康教育）、健康相談（重点健康相談、総合健康相談）

活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	健康診査	人	7230	7736	6704	
	健康相談	人	658	812	1156	
	集団健康教育	人	212	268	16	

3　投入資源

会計区分　一般会計

事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.676	0.224	33	0.634	283			
	臨時職員	0.020	0.082	410	0.020	24			
支出内訳	人件費	5,450,504	2,239,169	41	4,718,155	211			
	事業費	25,127,786	21,633,255	86	20,064,414	93			
	合計	30,578,290	23,872,424	78	24,782,569	104			
財源内訳	国庫支出金	137,000		0		－			
	県支出金	1,521,000		0		－			
	市債			－		－			
	その他	3,996,857		0		－			
	一般財源	24,923,433	23,872,424	96	24,782,569	104			
	合計	30,578,290	23,872,424	78	24,782,569	104			

※　事業の進捗状況

事業費単位：円

4　評価指標

【有効性】

指標名1	子宮がん検診								
指標説明（式）	受診率								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0		100.0	
	実績	20.9	11.8	56.5	9.7	82.2			

指標名2	乳がん検診								
指標説明（式）	受診率								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	20	20	100.0	20	100.0			
	実績	23.7	11.6	48.9	11.2	96.6			

【効率性】

指標名1		子宮がん検診受診者数(個別)							
指標説明（式）		医療機関における子宮がん検診受診者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
数	目標	550	580	105.5	600	103.4			
	実績	492	515	104.7	501	97.3			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

5 事業の評価(2年度実績） Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係（根拠）法令から見た効果	健康増進法等に合致する内容で、柔軟に対応ができている。	4
	市民サービス	生活習慣病健康診査とセット受診ができるよう環境を整えることができた。	
効率性	手段の最適性	子宮がん検診については、姫路市、赤穂郡、たつの市･太子町医師会と引き続き事業実施委託契約を締結し、受診医療機関の充実を図るとともに、周知に務めることができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	子宮がん検診について分娩した医療機関で受診ができるよう受診機会の拡大を図ることはできたが、全てのがんにおいて新型コロナウイルス感染症の影響か受診者数が減少してしまった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	受診率の向上と新規受診者を取り込む

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	医療機関にポスターを掲示。他事業の機会を利用し、市民にチラシを配布し周知を図る。また。乳がん検診については、受診医療機関の拡充するため医師会と調整を行う

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1　基本情報

事業番号	020102020200	事業の類型	

年度	2	事務事業名	健康づくり推進事業	予算事業名	健康づくり推進事業
優先度	3				
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	三浦　貴史	担当者名	石原　由佳
取組み事項	病気などの早期発見と早期治療を推進する	実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	地域保健法、健康増進法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する主に39歳以下の市民			
	誰(何)を対象として	市内に居住する主に39歳以下の市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	若年期からの生活習慣病予防の意識向上と生活習慣病予防を図る。			

2　事業の概要　 Do

実施の概要	39歳以下の健康診査(基本健康診査、がん検診)胃がんリスク節目検診(30歳)					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	基本健康診査	人	72	63	56	
	がん検診	人	106	83	77	
	胃がんリスク検診	人	34	2	2	

3　投入資源

会計区分　一般会計

事業費単位:円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.366	0.356	97	0.344	97			
	臨時職員		0.024	–	0.032	133			
支出内訳	人件費	3,090,584	3,066,749	99	2,787,887	91			
	事業費	2,341,842	2,016,490	86	1,936,408	96			
	合計	5,432,426	5,083,239	94	4,724,295	93			
財源内訳	国庫支出金			–		–			
	県支出金			–		–			
	市債			–		–			
	その他			–		–			
	一般財源	5,432,426	5,083,239	94	4,724,295	93			
	合計	5,432,426	5,083,239	94	4,724,295	93			

※　事業の進捗状況

事業費単位:円

4　評価指標

【有効性】

指標名1	がん検診受診者数								
指標説明(式)	39歳以下の胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診者数								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	170	120	70.6	100	83.3		100.0	
	実績	106	83	78.3	77	92.8			

指標名2	胃がんリスク検診(ABC)節目受診者数								
指標説明(式)	受診者数								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	50	50	100.0	20	40.0			
	実績	34	2	5.9	2	100.0			

【効率性】

指標名1	健診回数								
指標説明（式）	集団健診の延べ回数								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
回	目標	13	13	100.0	13	100.0			
	実績	13	13	100.0	13	100.0			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

5　事業の評価(2年度実績)　Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標（改善）達成度	受診人数がやや減少しているが、勤務先等で受診機会のない若年者の健康診査の機会となっている。	3
	市民サービス	若年者の健康診査受診の機会が得られ、健康づくりに活かすことができている。	
効率性	執行体制の効率性	若年者が受診しやすい環境づくりとして、受診場所の拡大が検討されるが、健診機関、医師会等との調整が必要である。	3
	執行体制の効率性	胃がんリスク検診（ABC）の個別検診が廃止されたことで受診者が伸び悩んでいる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市単の健康診査として、低料金で若年者に健診の機会を設けることができている。	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	胃がんリスク検診についての認知度が低い

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	継続して、普及啓発に取り組む。

配点	32.5
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102020300	事業の類型	1
年度 2	事務事業名	後期高齢者健康増進事業	予算事業名	後期高齢者健康増進事業	優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	三浦　貴史	担当者名 石原　由佳
取組み事項		病気などの早期発見と早期治療を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査に準拠した基本健康診査			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する75歳以上の市民			
	誰(何)を対象として	市内に居住する75歳以上の市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣病の予防を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		基本健康診査受診者数				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	基本健康診査	人	940	973	932	

3 投入資源

会計区分　一般会計

事業費単位:円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	-	0.030	-			
	参事以下職員	0.132	0.148	-	0.320	-			
	臨時職員		0.012	-	0.012	-			
支出内訳	人件費	1,351,028	1,499,029	-	0	-			
	事業費	4,967,760	5,288,680	-	5,177,784	-			
	合計	6,318,788	6,787,709	-	0	-			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	6,318,788	6,787,709	-	0	-			
	合計	6,318,788	6,787,709	-	0	-			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基本健診受診者数							
指標説明(式)		基本健康診査受診者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	1000	1000	-	1000	-		100.0	
	実績	940	973	-	932	95.8			

指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

5　事業の評価(2年度実績）Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	集団健診は、基本健康診査と併せてがん検診等も同時受診ができる。	4
	関係（根拠）法令から見た効果	生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	一部、地域の会場で実施したが、自治会から見守り隊がでるなど安全かつ快適に実施することができた。遠方の地区には送迎バスを運行し、受診ができるよう努めるることができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により受診者がやや減少したが、委託先と連携をとり、安全に実施できている。	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	外部会場は階段の勾配が強いため、高齢者にとって負担がかかる。

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	引き続き外部会場では、自治会と調整し会場設定を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1　基本情報

			事業番号	020102030100		事業の類型	1
年度	2	事務事業名	予防接種事業	予算事業名	予防接種事業	優先度	3
まちづくり目標			みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名（中）			健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	三浦 貴史	担当者名	川部　純平
取組み事項			感染症のまんえんを予防する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規			予防接種法・結核予防法				
事業の目的	誰のために（具体的に）		市民全体（免疫水準の維持）				
	誰（何）を対象として		接種対象者				
	意図（どのような状態にしたいのか）		予防接種を受け、健康を維持することができる。市民全体の免疫水準を維持することができる。				

2　事業の概要　　Do

実施の概要		定期予防接種A類（風しん・麻しん・日本脳炎・4種混合・2種混合・ロタウイルス・BCG・小児肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がん予防、水痘）、定期予防接種B類（インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌）を実施する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	定期予防接種A類	%	67.2	62.7	69.6	
	定期予防接種B類	%	45.7	45.4	60.0	

3　投入資源

会計区分　一般会計　　　　事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.260	0.276	106	0.400	145			
	臨時職員	0.232	0.197	85	0.244	124			
支出内訳	人件費	2,944,988	2,916,699	99	3,750,586	129			
	事業費	62,617,172	65,043,640	104	107,472,108	165			
	合計	65,562,160	67,960,339	104	111,222,694	164			
財源内訳	国庫支出金		2,099,000	－		0			
	県支出金		0	－		－			
	市債		0	－		－			
	その他		0	－		－			
	一般財源	65,562,160	65,861,339	100	111,222,694	169			
	合計	65,562,160	67,960,339	104	111,222,694	164			

※　事業の進捗状況

事業費単位：円

4　評価指標

【有効性】

指標名1		予防接種A類接種率							
指標説明（式）		（各予防接種接種者数÷各予防接種接種対象者数）×100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		100.0	
	実績	67.2	62.0	92.3	69.6	112.3			

指標名2		予防接種B類接種率							
指標説明（式）		（各予防接種接種者数÷各予防接種接種対象者数）×100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	60	60	100.0	50	83.3			
	実績	45.7	45.4	99.3	60.0	132.2			

【効率性】

指標名1									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

5　事業の評価(2年度実績)　Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係（根拠）法令等から見た効果	改正に合わせて、迅速な対応ができ、予防接種法等に合致する内容で実施できている。	4
	成果目標（改善）達成度	予防接種A類に関しては、新型コロナ感染症による予防接種控えもなく接種率の減少は見られなかった。予防接種B類については助成により自己負担額の減少、また新型コロナ感染症の影響で接種率が増加。	
効率性	執行体制の効率性	予防接種A類については個別用タックシール使用により、接種回数の見落としや誤りを防ぐことができている。予防接種B類については助成により自己負担額の減少、また新型コロナ感染症の影響で接種率が増加したと考えられる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	前年度に比べA類B類ともに、新型コロナ感染症による病院敬遠も影響し、減少傾向にある。	3

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	勧奨の機会を捉え、引き続き対象者への効率的かつ有効な周知が必要。

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	勧奨の機会を捉え、引き続き対象者への効率的かつ有効な周知をする。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1　基本情報

事業番号	020102030200	事業の類型	1

年度	2	事務事業名	感染症予防事業	予算事業名	感染症予防事業
優先度	3				
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名（中）	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	三浦　貴史	担当者名	中山　基恵
取組み事項	感染症のまんえんを予防する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）				
事業の目的	誰のために（具体的に）	市民			
	誰（何）を対象として	感染症発生の疑いのある者			
	意図（どのような状態にしたいのか）	感染症発生及びそのまん延の防止を図り、公衆衛生の向上を図る。			

2　事業の概要　　Do

実施の概要	感染症予防に関する広報、ポスター等の掲示による啓発を実施した。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	消毒剤の購入量	袋	0	0	0	

3　投入資源

会計区分　一般会計

事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.032	0.188	588	0.328	174			
	臨時職員	0.020	0.080	400	0.020	25			
支出内訳	人件費	663,008	1,968,029	297	2,646,535	134			
	事業費	0	0	−	27,082	−			
	合計	663,008	1,968,029	297	2,673,617	136			
財源内訳	国庫支出金			−		−			
	県支出金			−		−			
	市債			−		−			
	その他			−		−			
	一般財源	663,008	1,968,029	297	2,673,617	136			
	合計	663,008	1,968,029	297	2,673,617	136			

※　事業の進捗状況

事業費単位：円

4　評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
	目標			−		−		−	
	実績			−		−			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

【効率性】

指標名1									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

5　事業の評価(2年度実績)　Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標（改善）達成度	感染症のびまん延を防止し、市民の健康を守る。	4
	関係（根拠）法令等から見た効果	感染症の発生及びまん延を防止する。	
効率性	手段の最適性	危機管理課と協力し、事業を進める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水害等による消毒用石灰が必要な災害は発生しなかった。コロナウイルス感染症が全国的に発生し、予防のための消毒液やマスク等の配付を行った。	5

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	感染症まん延を防ぐための有効手段等を改めて見直す必要がある。

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標（改善）達成度	感染症のまん延を防止する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号		020102030300		事業の類型	5
年度	2	事務事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業	予算事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名（中）		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	井上勇治
取組み事項		感染症のまんえんを予防する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市公衆浴場整備改善資金利子補給補助金公布要綱					
事業の目的	誰のために（具体的に）	市民					
	誰（何）を対象として	公衆浴場経営者					
	意図（どのような状態にしたいのか）	公衆衛生の維持のために、市内唯一の公衆浴場の安定経営の維持					

2 事業の概要 Do

実施の概要	公衆浴場の数					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	施設数	件	1	1	1	
	※都湯：相生地区					

3 投入資源

会計区分 一般会計

事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.008	0.012	150	0.012	100			
	臨時職員			－		－			
支出内訳	人件費	429,212	463,389	108	452,160	98			
	事業費	0	0	－	0	－			
	合計	429,212	463,389	108	452,160	98			
財源内訳	国庫支出金			－		－			
	県支出金			－		－			
	市債			－		－			
	その他			－		－			
	一般財源	429,212	463,389	108	452,160	98			
	合計	429,212	463,389	108	452,160	98			

※ 事業の進捗状況

事業費単位：円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給対象借入件数							
指標説明（式）		H22年度まで 年間利子相当額の1/2づつを県市補助負担 H23年度から 利率1%超4%以内の利子額に対し県市1/2づつ補助							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
件	目標	0	1	－	1	100.0		100.0	
	実績	0	0	－	0	－			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

【効率性】

指標名1	県補助金								
指標説明（式）	利子補助額×1/2								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	0	0	－	0	－			
	実績	0	0	－	0	－			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

5　事業の評価(2年度実績）Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公衆浴場がある相生地区においては、高齢者世帯を中心に風呂がない借家や古い家屋が多くあり、ここ数年で利用者は減少傾向にあるが、需要がある限り公衆浴場存続の必要がある。	3
効率性	手段の最適性	本制度は、利用者も少なく、投資効果がない中での公衆浴場の改修を促すものであり、利用者の利便向上及び、事業者の経営安定のため、設備資金の借入に対する利子補給事業は最適な手段である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	市内で1軒しかない公衆浴場の維持のために、引き続き業務は存続させる。

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	公衆浴場の存続のために、この事業でよいのか検討する必要がある。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1　基本情報

			事業番号	020102030400		事業の類型	4
年度	2	事務事業名	衛生害虫駆除事業	予算事業名	衛生害虫駆除事業	優先度	3
まちづくり目標			みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	市民生活部環境課		
施策名（中）			健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	宇久勝志	担当者名	横山正俊
取組み事項			感染症のまんえんを予防する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために（具体的に）		市民				
	誰（何）を対象として		地域				
	意図（どのような状態にしたいのか）		日常及び水害時等において、不快害虫を駆除・防除し、快適な生活環境を維持する。				

2　事業の概要　　Do

実施の概要	地区清掃等に係る自治会への害虫駆除薬剤配布（SV乳剤→水性サフロチン）					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	薬剤配布（自治会数）	件	16	11	8	

3　投入資源

会計区分　一般会計　　　　事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.024	100			
	臨時職員			－		－			
支出内訳	人件費	548,156	552,069	101	533,400	97			
	事業費	0	70,456	－	0	0			
	合計	548,156	622,525	114	533,400	86			
財源内訳	国庫支出金			－		－			
	県支出金			－		－			
	市債			－		－			
	その他			－		－			
	一般財源	548,156	622,525	114	533,400	86			
	合計	548,156	622,525	114	533,400	86			

※　事業の進捗状況

事業費単位：円

4　評価指標

【有効性】

指標名1		薬剤配布							
指標説明（式）		各自治会への配布本数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
本	目標	20	20	100.0	20	100.0		100.0	
	実績	16	11	68.8	8	72.7			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

【効率性】

指標名1	薬剤購入								
指標説明（式）	薬剤購入費								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	14000	96,000	685.7	12,000	12.5			
	実績	0	70,456	−	0	0.0			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			−		−			
	実績			−		−			

5　事業の評価(2年度実績）Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公衆衛生確保の観点から市民サービスの貢献に努めた。	4
効率性	執行体制の効率性	市は薬剤費の支出を受け持つが、薬剤散布にあたっては、地元自治会が自主的に実施するため、役務面でのコスト削減につながっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	なし

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	なし

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1　基本情報

事業番号	020102040100	事業の類型	1

年度	2	事務事業名	食育推進事業	予算事業名	食育推進事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名（中）		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	三浦　貴史	担当者名	三木　由紀
取組み事項		食育を推進する		実施計画への記載		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		食育基本法					
事業の目的	誰のために（具体的に）	市民					
	誰（何）を対象として	市民					
	意図（どのような状態にしたいのか）	様々な経験を通じて食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる					

2　事業の概要　Do

実施の概要	相生市食育推進計画を策定し、それにそって、地域、関係団体、保育所、幼稚園、学校、生産者、行政などが連携して食育活動を進める。

活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	食育推進協議会	開催回数	3	1	1	

3　投入資源

会計区分　一般会計

事業費単位：円

インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.358	0.196	55	0.180	92			
	臨時職員		0.012	－		0			
支出内訳	人件費	3,031,112	1,853,749	61	1,589,520	86			
	事業費	8,425	15,248	181	0	0			
	合計	3,039,537	1,868,997	61	1,589,520	85			
財源内訳	国庫支出金			－		－			
	県支出金			－		－			
	市債			－		－			
	その他			－		－			
	一般財源	3,039,537	1,868,997	61	1,589,520	85			
	合計	3,039,537	1,868,997	61	1,589,520	85			

※　事業の進捗状況

事業費単位：円

4　評価指標

【有効性】

指標名1		相生市食育推進計画の取組の進歩状況							
指標説明（式）		前年度の目標の達成度							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0	
	実績	95	95	100.0	80	84.2			

指標名2		相生市食育推進計画の指標と目標値							
指標説明（式）		達成状況（目標達成数＋目標に近づいているが未達成）÷指標数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	70		0.0		－			
	実績	50		0.0		－			

【効率性】

指標名1		相生市食育推進協議会開催回数							
指標説明（式）		市民の食育に関する有識者、関係団体から選出された委員が協議する							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
回	目標	3	1	33.3	1	100.0			
	実績	3	1	33.3	1	100.0			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			－		－			
	実績			－		－			

5　事業の評価(2年度実績)　Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標（改善）達成度	相生市食育推進計画（第3次）にそって実施目標をたて、関係者等と連携をしながら取り組んでいる。	3
	関係（根拠）法令から見た効果	相生市食育推進計画（第3次）は、国、県の食育推進計画を踏まえ推進するとともに、相生市子育て元気課の他の計画（健康増進計画、自殺対策計画）とも整合性を図りつつ食育を総合的に推進している。	
効率性	手段の最適性	市としての重点取組を決め、各担当課が同じ目標に向けて3年間取り組む。他部署、他団体と連携をしながら事業を行っている。	4
	執行体制の効率性	食育推進協議会、庁内食育会議、作業部会と食育の推進体制に沿って食育を推進することで、漏れなく活動を行うなど、効果的な体制、方法で事業を推進している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進めている。	4

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標（改善）達成度	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントや教室等が開催できなかった。

7　事業の改革改善　Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標（改善）達成度	新型コロナウイルス感染予防対策を徹底、工夫しながら食育活動に取り組みたい。

配点	25
総合評価	17